

1394	応永1.	◇傑堂能勝, 岩船郡門前に曹洞宗耕雲寺を創建する((2)503)
1395	応永2. 3.18	中条寒資, 奥山莊赤川村を大輪寺に寄進する[[越佐史料2]
	5	三島郡鵜川神社の社殿を再建する[[越佐史料2]
1396	応永3. 7.23	幕府, 越後国衙領半分・上田莊・五十公郷などを上杉房方に安堵する[[3]782]
1398	応永5. 3. 5	山浦家経, 養子水原初犬丸に山浦四か条を譲る((2)85)
1402	応永9. 8. 3	長尾実景ら21人, 頸城郡鞍馬寺に馬疋を寄進する[[4]2244]
	9.14	平聖融, 魚沼郡石打の大明神に鰐口を奉納する[[5]2479]
1403	応永10.	◇神戸最重, 傑堂能勝を請じて蒲原郡滝谷に慈光寺を創建する((2)504)
1404	応永11. 2.22	長尾景実, 魚沼郡浦佐普光寺に仏供田を寄進する((2)250)
	6	魚沼郡河井村の明口神社に鰐口が奉納される[[5]2456]
1405	応永12. 8.19	佐渡の久知本間氏, 家中の給分・諸役を記録(久知給分帳)する((2)202)
1406	応永13.11.20	上杉房方, 蒲原郡吉田保を山城等持院に寄進する[[5]4239]
	11	本間高泰, 佐渡久知郷長安寺の掟を定める[[5]2976]
1407	応永14. 3.	島田益直, 宣陽門院領吉河莊の年貢を記録する[[5]4030]
	7. 2	本間詮忠, 佐渡長木保等を子息有泰に譲る((2)200)
	12.23	安田(毛利)憲朝, 末子亀一丸(のち道元)に所領を譲り, 置文を定める((2)247)
1408	応永15. 6. 1	道德, 刈羽郡二田神社の大乗経の経箱を造る[[5]2416]
1409	応永16. 3.16	中条寒資, 奥山莊八幡宮に鰐口を奉納する[[5]2516]
1410	応永17. 3.15	白崖宝生, 魚沼郡に閑興庵を建立する[[越佐史料2]
1411	応永18. 7.10	某, 古志郡中浦會村を栖吉普濟寺に寄進する[[3]257]
	8.19	居多神社, 社領注文を作成する((1)670)
1412	応永19. 3.21	中条寒資, 子孫に置文を定める[[4]1810]
1414	応永21. 2.28	本間道正, 佐渡郡椿の塩釜等を後家に譲る((2)345)
1415	応永22. 8.21	上杉房方, 大面莊吉野屋を安田道元に宛行う[[4]1538]
	12.18	梅山間本, 岩船郡耕雲寺の能勝傑堂を越前龍沢寺の後住第一とする[[5]4107]
	12	家盛, 弥彦神社に大太刀を奉納する[[5]2818]
1416	応永23.10.10	上杉禅秀の乱。関東管領上杉憲基, 越後に逃れ守護上杉房方を頼る((2)208)
1417	応永24. 7.	古志郡●脱莊蒲沢の満願寺に鰐口が寄進される[[5]2419]
	11. 9	本郷持泰, 吉河莊中条北方の安堵を求める[[5]4002]
1418	応永25. 4.19	伏見宮貞成親王, 田村盛兼を加地莊・菅名莊の代官とする[[越佐史料2]
	6. 1	佐渡羽茂郡田浦村の天神宮の懸仏ができる[[5]3149]
1419	応永26. 5.21	本成寺日陣死去する[[越佐史料2]
	6.29	小河莊, 会津芦名氏に攻撃される[[越佐史料2]
	6.29	佐渡久知郷の長安寺定明, 大般若経を納める[[5]2979]
1420	応永27. 4.17	幕府, 天童寺領保倉保・富川保の課役を免除する[[越佐史料2]
		◇上杉憲実, 雲洞庵を再興する((2)503)
1421	応永28.11.10	越後守護上杉房方死去, 朝方嗣ぐ((2)208)
1422	応永29.10.14	越後守護朝方死去, 上杉某(朝方の弟頼方か)守護となる((2)209)
	10.26	上杉憲栄, 死去する[[越佐史料2]
1423	応永30. 9.	◇越後に応永の大乱起こる((2)211)
		◇伊達氏一族滑川某, 奥山莊に侵入, 黒川基実を襲って, 乙宝寺仏舍利を奪う。中条房資, 仏舍利を買い戻し, 乙宝寺に寄進する((1)677 (2)429)
1424	応永31. 9.16	金山某, 奥山莊の知行分の神祇官段銭を納める[[4]1813]
	10.26	京都随心院領白鳥莊の年貢, 守護請となる[[5]4230・4231]
1425	応永32.8~11	中条房資, 長尾朝景に属して戦う[[4]1816・1817]
1426	応永33. 3.20	上杉氏, 弥彦莊の下条等を安田道元に与える((2)214)
	7.19	上杉頼藤, 大面莊内二か所を中条房資に与える[[4]1818]

		10	応永の大乱再発。中条房資ら長尾邦景討伐のため三条嶋ノ城に山吉久盛を攻める。加地・新発田らの翻意により房資ら敗れる。幕府、長尾邦景を許し、争乱終わる(②215)
		11	勸進聖永日、西古志郡乙面保の宗勝寺に鰐口を納める[[5]2645]
1427	応永34. 6.15		色部朝長、小泉莊加納の惣領職を譲る[[4]1032]
	8. 7		耕雲寺の傑堂能勝死去する[越佐史料2]
	11. 9		本間真本ら、羽茂大蓮寺の本尊阿弥陀仏を造立する[[5]3163]
		11	越後の戦乱終る(②216)
1428	正長1. 6. 9		幕府、黒川氏実の奥山莊北条等の所領を安堵する(②264)
		10.16	長尾邦景、関東公方足利持氏に誘われ、これを幕府に内報する[越佐史料2]
1429	永享1. 1.18		佐渡正福寺の宝印が作成される[[5]2952]
1430	永享2. 2.27		幕府、京都石清水八幡宮領乙面保を安堵する[[5]4218]
		8	幕府、上杉房朝に足利持氏が攻める那須氏資の援助を命じる[越佐史料2]
1431	永享3. 3. 5		幕府、京都実相院領紙屋莊を足利満貞に与える[越佐史料2]
1432	永享4. 9. 9		道浄安景ら、糸魚川の天津神社神宮寺に梵鐘を寄進する[越佐史料2]
1433	永享5. 6.11		幕府、上杉持房に紙屋莊・鶴川莊を引き渡すよう長尾邦景に命じる[越佐史料2]
		10.23	会津の新宮盛俊、小河莊で自殺する[塔寺八幡宮長帳・越佐史料2]
	12. 3		長尾実景、頸城郡鞍馬寺に寺領を寄進する[[4]2245]
1434	永享6. 2.25		色部重長、父朝長について、重ねて耕雲寺に所領を寄進する[[4]2035]
	5. 4		幕府、世阿弥元清を佐渡に流す(②400 ③754)
	6. 5		芦名盛政、子息盛久に所領小河莊等を譲る[[5]3751]
1436	永享8. 3.		黒川氏実、奥山莊蔵王の如意輪権現に鰐口を寄進する[[5]4418]
1437	永享9. 9.21		幕府、中矩を米山寺住職とする[越佐史料2]
		11.15	西片光行、魚沼郡吉谷の弥彦神社に鰐口を寄進する[[5]2451]
1438	永享10. 2.22		幕府、本間季直の所領石田郷等を安堵する[[5]3876]
		7.19	西片光行、魚沼郡吉谷の宇都宮に鰐口を寄進する[[5]2452]
		8	永享の乱。長尾実景、関東に出て上杉憲実に従う[越佐史料2]
	11. 3		憲実、足利持氏を捕え鎌倉に幽閉する(②219)
1439	永享11. 2.10		憲実、足利持氏を自殺させ、出家して清方に政務を譲る(②219)
		10.1	幕府、蒲原津を結城氏朝に与える[[5]3207]
	11. 7		上杉房朝、居多神社に社領を寄進する[[4]2124]
1440	永享12. 4.		結城合戦始まる(3月)。上杉清方、越後等の兵を率いて参戦する(②219)
	8. 9		黒川氏実、中条合戦の戦功を賞し、所領を与える[[4]2329]
		9.26	長尾実景、越後の軍を率いて下総の結城城で戦う(②220)
1441	嘉吉1. 4.16		結城城落ちる。実景、安王・春王を捕え京都に向かう(②220)
		5.15	魚沼郡波多岐莊倉俣の東光寺の雲版完成する[[5]2515]
		5.16	実景、美濃垂井で安王・春王を斬る(②220)
		6.13	嘉吉の乱。上杉憲実、越後の所領を次子房顕に譲り引退する(②221)
		12.29	幕府、実景の戦功を賞す(②220)
1442	嘉吉2.10.20		幕府、上杉房顕の越後の所領を安堵する[3]778]
1444	文安1. 8.		憲実、越後国衙領と上田莊を房顕に譲る(②273)
	10. 8		上杉房朝、本成寺に安堵状を与える[[5]2667]
1445	文安2. 2.24		房朝、水原氏の所領を安堵する(②222)
1446	文安3. 6.		道円、府中八幡(岡前寺千手観音)の鰐口を施入する[[5]4332]
		8	南英謙宗、弥彦莊の石瀬に種月寺を建てる(②504)
			◇房朝、京都から帰国して佐橋莊の毛利刑部少輔を討つ(②224)
1447	文安4. 8.23		幕府、京都天竜寺領の越後富川保・保倉保・西広島を守護不入とする[越佐史料3]

	10.23	紀伊熊野の執行法印権大僧都道珍, 旦那佐渡の計良・中川一族を寛宝坊に譲る[越佐史料3]
1449	宝徳1. 2.27	上杉房朝京都で死去。清方の子房定嗣ぐ(②224)
	9. 9	上杉房定, 関東公方に成氏を擁立する[越佐史料3]
		◇本願寺蓮如, 越後国府を訪れる。ついで蒲原郡鳥屋野の浄光寺を訪ねる(②478)
1450	宝徳2.11.12	房定, 越後府中に長尾邦景を攻め、邦景を自殺させる(②224・260)
	9.18	中条房資, 奥山荘中条の所領を子息朝資に譲る[[4]1822]
1452	享徳1. 1.11	房定, 黒川氏実に証状を与え, 文書紛失の所領を安堵する[[4]1380]
1453	享徳2. 6.25	房定, 頸城郡根知で長尾実景と戦うという[[4]1722]
	12	黒川氏実, 文書紛失の所領につき, 幕府の安堵を求める(②264)
		◇中条房資, 奥山荘の鶏冠城を修復する[[4]1316]
1454	享徳3. 4.28	房資, 曾祖父以来の中条家記録を作成する[[4]1316]
	6.15	西方秀義, 刈羽郡内の田地を船丸阿弥陀に寄進する[[5]2369]
	6.24	色部重長, 岩船郡小泉荘加納の田地を耕雲寺に寄進する[[4]2038]
1455	康正1. 4. 2	大島荘蔵王堂の別当恵実, 梵鐘を造る(②448)
	6. 5	房定, 足利成氏と上野三宮原で戦う[[3]194 [5]3426ほか]
1456	康正2. 9.17	房定, 中条朝資らを率いて足利成氏と武蔵岡部原で戦う[[4]1740]
		◇佐橋荘北条の専称寺焼失する[[4]2293]
1457	長禄1. 6.19	毛利広栄, 焼失した専称寺に寺領を寄進する[[4]2293・2294]
1458	長禄2. 4.15	房定, 本成寺の売得地を安堵する[[5]2665]
1459	長禄3. 3.15	上田荘の長尾房景, 上野国府の大蔵坊を先達とし, 熊野参詣をはかる(②385)
	5.19	種月寺の南英謙宗死去する[越佐史料3]
	10.14	房定, 武蔵太田荘で成氏と戦う[越佐史料3]
	10.25	京都実相院の寺領目録に紙屋荘がみえる[[5]4226]
		◇大和西大寺の6人, 佐渡小比叡の蓮華峰寺に参詣する(②411・443)
1460	寛正1. 8.12	本間高直, 佐渡羽黒山大権現の社殿を建立する[[5]3064]
1461	寛正2. 6.12	斎藤清信, 善照寺の増珍に田地を売却する[[5]2370]
	11	長尾房景, 浦佐普光寺に制札を出す[[5]2593]
		◇越後飢饉[越佐史料3]
1462	寛正3. 3.23	紀伊熊野の善成坊什珍, 越後旦那の遠藤・渡辺一族らを花蔵院に売却する[越佐史料3]
	7.24	幕府, 瑞洵を米山寺住職とする[越佐史料3]
	12.27	安田道元, 鵜川荘安田条等の所領を嫡子重広に譲る[[4]1544]
1463	寛正4. 8.22	尻高亀鬼丸, 上田荘木六郷長慶庵に寺領を寄進する[[5]2549]
	12.12	房定, 信濃の高梨政高と戦う[越佐史料3]
1464	寛正5. 7.26	幕府, 梵什を普濟寺, 周基を米山寺の住職とする[越佐史料3]
	8. 3	小河荘の西山日光寺の梵鐘を造る[越佐史料3]
	8.27	房定, 中条定資に所領を安堵する[[4]1916]
1465	寛正6. 7. 8	京都常光院の堯恵, 信濃善光寺参詣の途次, 米山薬師に登拝する(②351・378・437)
1466	文正1. 2.12	関東管領上杉房顕死去。房定の子顕定嗣ぐ(②227)
	6. 3	房定, 発智氏らを率いて武蔵五十子に戦う[[4]1623]
	8. 4	幕府, 中良を米山寺住職とする[越佐史料3]